

第1回長野県ティーボール大会開催報告

長野県野球協会と北信地区野球協会は12月10日（日）にU-10（小学校1年生～4年生）対象の「第1回長野県ティーボール大会」を長野オリンピックスタジアムで開き、約250人の選手に家族や指導者ら計約1,200人の参加でにぎわいました。

ティーボールは投手が投球する代わりに棒状の台（バッティングティー）に置いたボールをバットで打つ競技で、野球への導入として親しまれています。これまで協会の普及イベントで採用してきましたが、今回、初めて開催した大会が盛り上がり、新聞・テレビなどでも好意的に報道されたのは幸いでした。



【見事な打撃フォーム！上位進出チームは狙う方向をしっかりと決めてスイングしていました】

大会は絶好の野球日和の中、東北信地区の計20チームが参加しました。その中には県内各地からの個人参加の子ども達によるチームもありました。なお、個人申し込みが約30名と多かったため一部の子ども達には同じ居住地のチームに加わってもらいました。4カ所の特設ダイヤモンドで、まず4ブロック各5チームによる予選リーグがあり、各リーグ上位2チームの計8チームによる決勝トーナメントの結果、初代の優勝は岸野・泉スポーツ少年団（佐久市）、準優勝はみゆき野ティーボールクラブ（飯山市）、3位は延徳ネクサスライオンズと平野オリオンズ（ともに中野市）となりました。また、予選リーグの下位チームは交流戦で競技を楽しみました。信越硬式野球クラブのご協力ですmoothな試合進行ができ、ありがたいことでした。



【優勝を喜ぶ岸野・泉スポーツ少年団の選手たちと、表彰式後の集合写真です】

※ 予選リーグと決勝トーナメントの試合結果は[こちらから](#)ご覧ください。

選手全員が参加できる試合形式が共感を呼び、スタジアムに笑顔と歓声が絶えない大会となりました。女子の参加が多かったのも、これからの野球界を元気にしていくヒントになると歓迎されました。参加した子どもたちからは「楽しかった」「来年もやってほしい」という感想が多く聞かれました。また、保護者の皆さんからは「子どもが野球をこんなに楽しんでいるのを初めて見た」「いつもと違い、4年生までだけで試合できるのはありがたい」「もっと大会を増やしてほしい」などの声が寄せられ、心強く受け止めました。



【子どもたちの真剣な眼差しと笑顔は未来につながる宝物です】

今大会を通じて、昭和の時代に小学校の校庭で子どもたちが、バットを用いず手でゴムボールを打つ「ハンドベースボール」で仲間たちと楽しんでいた光景が連想されました。野球の原点を見る思いがします。小学生1～4年の子どもたちにとって、投手がストライクを投げ続け、それを打者がしっかり打つのは難しいものがあります。その点、ティーボールは、5、6年生で野球を本格的に始めるのに先駆けて取り組む競技として非常にふさわしいと改めて確認できました。

野球人口の底辺拡大と野球振興をめざす長野県野球協会は、来年度も北信地区野球協会とともに長野オリンピックスタジアムのご協力を得て第2回大会を開催したいと考えており、さらに多くのチームの参加を願っています。併せて、今後、ティーボールの全県普及に努めてまいります。